



電動式生ごみ処理機

時間をかけずに生ごみを減量できます！

補助あり
購入金額の1/2
限度額20,000円

電動式生ごみ処理機は大きく2種類に分けられ、温風を使って生ごみの水分を乾燥させる「乾燥式」と微生物を使って分解する「バイオ式」があります。機械の購入費はやや高額で、電気代はかかりますが、室内でも使用できます。
※機種によって、使い方や処理時間等が異なりますので、販売店でご確認ください。

	乾燥式	バイオ式
特徴	温・冷風乾燥して、生ごみを減容化します。	微生物の働きを利用して、生ごみを分解します。バイオチップが必要です。
設置場所	室内	室内・ベランダ・軒下
使い方	<ul style="list-style-type: none"> ①生ごみの水分を良く切って機械へ入れます。 ②蓋を閉めてスタートボタンを押せば機械が処理をします。 ③できた乾燥生ごみは土と混ぜて熟成させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①機械に微生物の入った基材を入れます。 後は、乾燥型と同じです。
堆肥として利用する場合	処理した乾燥生ごみを、土に混ぜ、1ヶ月ほど熟成させる。	処理したバイオチップを、土に混ぜ、2週間ほど熟成させる。

(参考) 本体価格：5万円～10万円程度



家庭で処理した乾燥生ごみ（処理物）を堆肥として活用できない場合は、市で処理物を引取り、協力農家で堆肥として活用する「乾燥生ごみ活用事業」を行っています。
詳しくは、資源循環推進課までお問い合わせください。